

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」

世界遺産

『荒船風穴』と『春秋館』

秋池 武 著



みやま文庫



# 目次

はじめに	3
一 荒船風穴の所在地	3
二 世界遺産の中での「荒船風穴」の役割	4
三 荒船風穴蚕種貯蔵所跡の規程と稼働時期	5
第一章 繭増産に貢献した風穴	8
一 蚕の飼育と増産	8
二 蚕卵孵化の生理	10
三 蚕飼育の冷風利用と多回数化	12
(一) 蚕飼育の低温利用	12

(二) 冷風と多回数化	16
四 蚕種関係法と制度の整備	18
五 蚕卵紙(種紙)の種類	21
六 全国冷蔵蚕種貯蔵所と蚕卵紙製造推移	25
(一) 明治四十二『全国風穴調』	26
(二) 大正二年刊行『實驗夏秋蠶業之経営法』	28
(三) 大正時代登録風穴数	29
七 荒船風穴蚕卵紙貯蔵能力と課題	29
八 荒船風穴蚕種貯蔵所の終焉	32
九 養蚕飼育の改善	33
(一) 蚕の品種改良	33
(二) 桑と桑園	34
第二章 荒船風穴蚕種貯蔵所建造	37
一 群馬県内の蚕種貯蔵所建造の歴史	37

二	荒船風穴蚕種貯蔵所建造の歴史	39
(一)	荒船風穴蚕種貯蔵所開設	40
(二)	明治四一年蚕種貯蔵庫の増築	50
(三)	大正三年以降の増築と改修	66
三	蚕種貯蔵所の機能	95
(一)	一蚕種貯蔵庫と冷風	95
(二)	連結式貯蔵庫	99
(三)	水の確保	101
(四)	蚕種貯蔵所土留め石積み治山対策	103
(五)	蚕種貯蔵庫の解体と石積み崩壊	103
四	縄文時代の冷風利用	107
第三章	荒船風穴経営母体春秋館	110
一	庭屋家と蚕種製造の歴史	110
二	「春秋館」の名称と荒船風穴	116

(一)	「春秋館」の読みと施設	116
(二)	「春秋館」名以前	120
(三)	「春秋館」名の始まり	120
(四)	春秋館名の本格使用	122
(五)	春秋館の機能	123
三	春秋館への蚕卵紙委託方法	124
四	春秋館の営業政策	135
(一)	営業案内・広告による広報	135
(二)	全国各地の気温調査と蚕卵紙入穴時期	138
五	全国展開の社会的背景	143
(一)	夏秋蚕飼育の増加と春秋館	143
(二)	輸送網の整備	144
(三)	全国輸送体制の整備	150
六	全国からの「蚕卵紙」輸送方法	155
七	全国展開の証	157
八	蚕卵紙受託量の減少と終焉	161

(一)	不況と災害	161
(二)	電気冷蔵庫の普及	162
(三)	関東地震の影響	165
(四)	蚕卵紙受託量減少に伴う対策	167
(五)	蚕卵紙生産と風穴稼働の停止	171
第四章 荒船風穴蚕種貯蔵所を支えた自然背景		
一	風穴の沢と周囲の気候・地形	175
(一)	気候	177
(二)	地形・地質	178
二	崖錐地形と風穴の沢	182
(一)	崖錐地形	182
(二)	風穴の沢と崩落岩堆積状況	182
三	冷風発生の仕組み	188
(一)	冷風把握の方法	188